

(4) 色彩基準

1) 色彩基準について

- 色彩基準は、JIS 規格に採用されている「色の表示方法—三属性による表示 (JIS Z8721)」に準拠した「マンセル表色系」を用いています。

マンセル表色系：アメリカの画家、美術教育家の A. H. マンセルが考案した色を客観的に表す表示体系のこと。すべての物体色を色相、明度、彩度という 3 つの尺度（色の三属性）の組み合わせによる記号（マンセル記号）で表示し、主観による個人差が生じない客観的な情報として伝達することができる。日本工業規格に採用されるなど、産業界に広く普及している。

- 一般地区とは、景観計画区域のうち重点地区以外の地区を指します。
- 外壁基本色とは、外壁各面の 4 / 5 以上の範囲に用いる色彩のこと。
- 外壁強調色とは、外壁各面の 1 / 5 以下の範囲に用いる色彩のこと。
- 屋根色とは、勾配屋根に用いることのできる色彩のこと。
- *本計画に用いた色彩の解説図等は、印刷による色再現のため、実際の色彩とは異なる場合があります。

2) 色彩基準の適用除外について

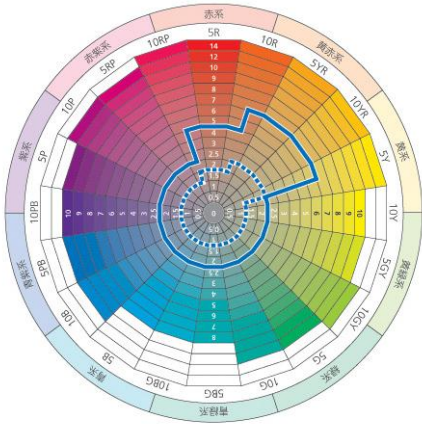
- 工作物の色彩については、建築物の外壁基本色の基準と同様にする。
ただし、他の法令で使用する色彩が定められているもの、トラス構造物等で壁面と認識できないものについてはこの限りでない。
- 建築物の屋根にあっては無釉の和瓦、銅板、草葺きによるものの色彩、建築物の外壁等及び工作物にあっては着色していない木材、土壁、ガラス、レンガ等の材料によって仕上げられる部分の色彩については、この基準を適用しないことができる。
- 工作物のうち、柵類、柱類及び鉄塔については、明度 4.0 未満の色彩も使用可能とする。
- 市民となじみが深い地域のイメージの核となるもの、地域のランドマークの役割を果たしているもの、その他良好な景観の形成に貢献する等、本計画の実現に資する色彩計画については、景観審議会等の意見を聴取した上で、この基準によらないことができる。

別表 I

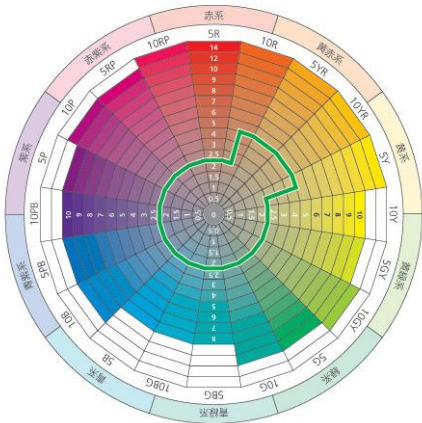
一般地区 緑との共生ゾーン外
(特定大規模建築物以外)

重点地区 中心市街地環境整備地区
(特定大規模建築物以外)

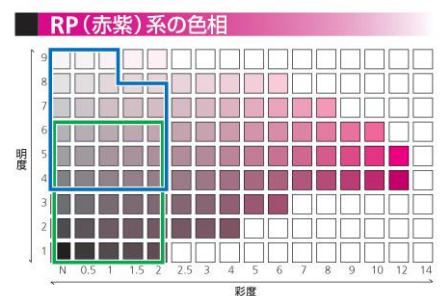
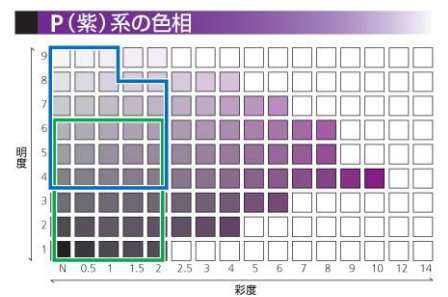
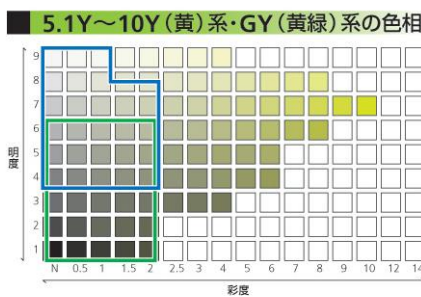
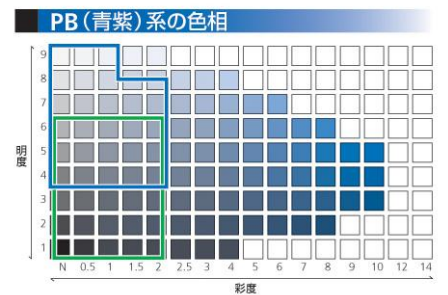
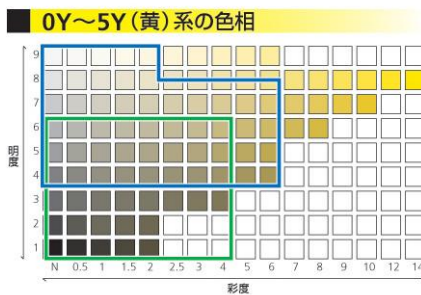
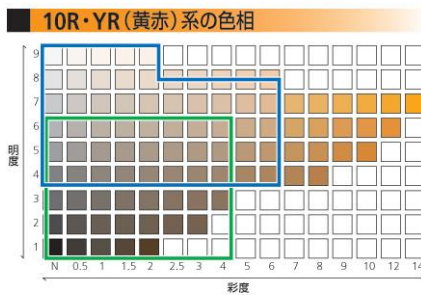
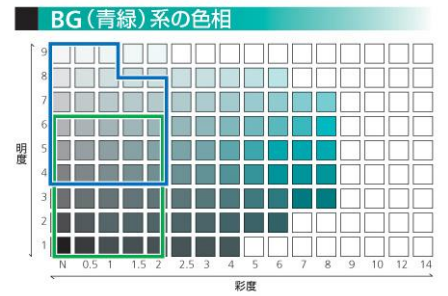
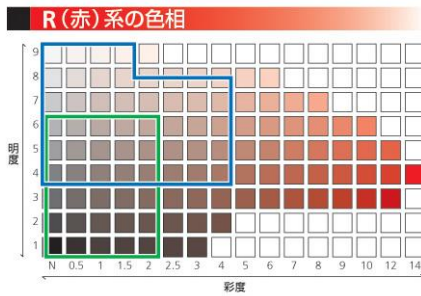
基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 9.9R	4.0以上 8.5未満の場合 8.5以上の場合	4.0以下 1.5以下
	0.0YR ~ 5.0Y	4.0以上 8.5未満の場合 8.5以上の場合	6.0以下 2.0以下
	その他	4.0以上 8.5未満の場合 8.5以上の場合	2.0以下 1.0以下
屋根色(勾配屋根)	0YR ~ 5.0Y	6.0以下	4.0以下
	その他		2.0以下



■ 外壁基本色の使用可能範囲
(実線: 明度 4.0以上 8.5未満、点線: 明度 8.5以上)



■ 屋根色の使用可能範囲(明度 6.0以下)



凡例

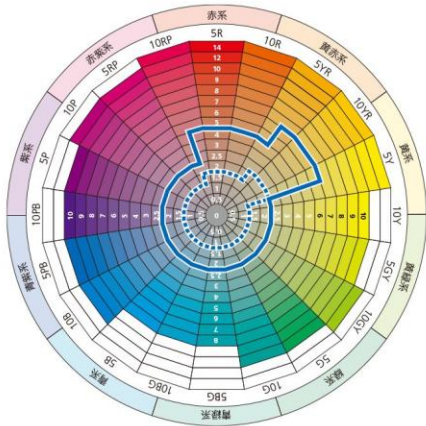
- 外壁基本色の使用可能範囲
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 屋根色の使用可能範囲
(陸屋根の屋根面には適用しない)

別表 II

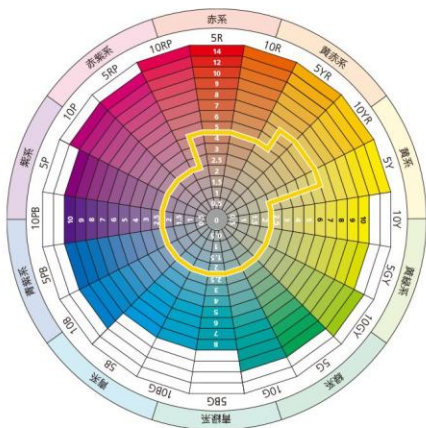
一般地区 緑との共生ゾーン外
(特定大規模建築物)

重点地区 中心市街地環境整備地区
(特定大規模建築物)

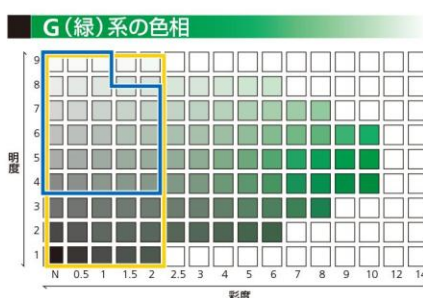
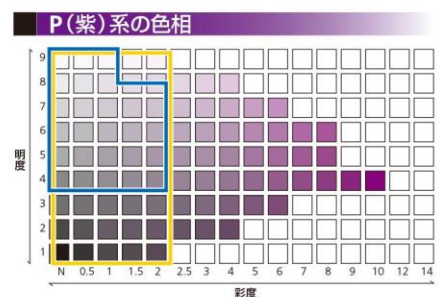
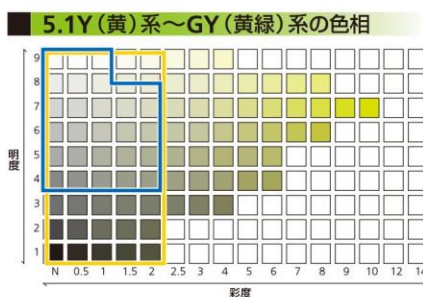
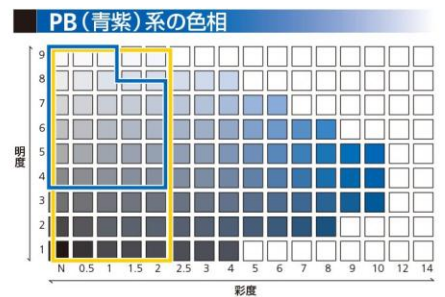
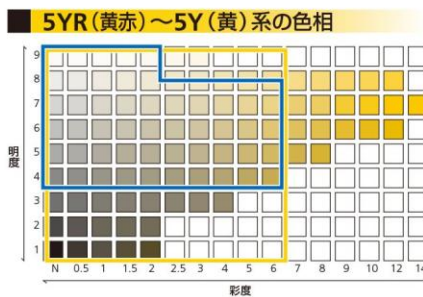
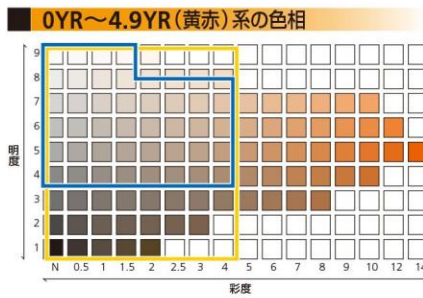
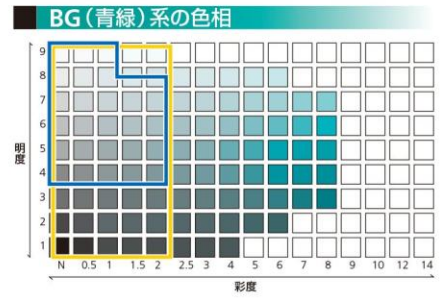
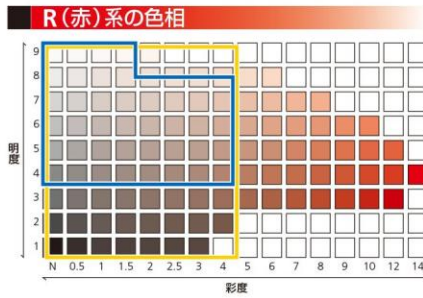
基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 4.9YR	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	4.0 以下 1.5 以下
	5.0YR ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	6.0 以下 2.0 以下
	その他	4.0 以上 8.5 未満の場合 8.5 以上の場合	2.0 以下 1.0 以下
強調色	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下



■外壁基本色の使用可能範囲
(実線：明度 4.0 以上 8.5 未満、点線：明度 8.5 以上)



■外壁強調色の使用可能範囲

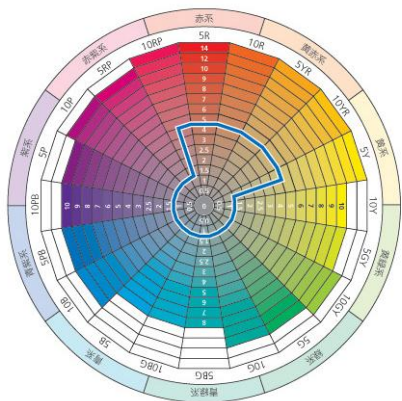


凡例

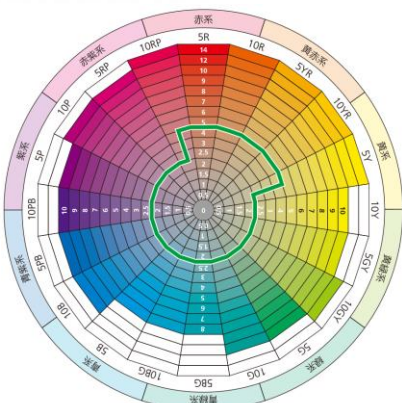
- 外壁基本色の使用可能範囲
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 外壁強調色の使用可能範囲
(外壁の1/5以下で使用可能)

別表 III

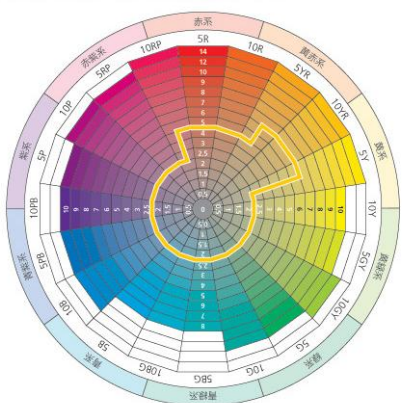
一般地区 緑との共生ゾーン内
重点地区 裏高尾・小仏地区
浅川沿川地区



■ 外壁基本色の使用可能範囲



■ 屋根色の使用可能範囲 (明度 6.0 以下)



■ 外壁強調色の使用可能範囲

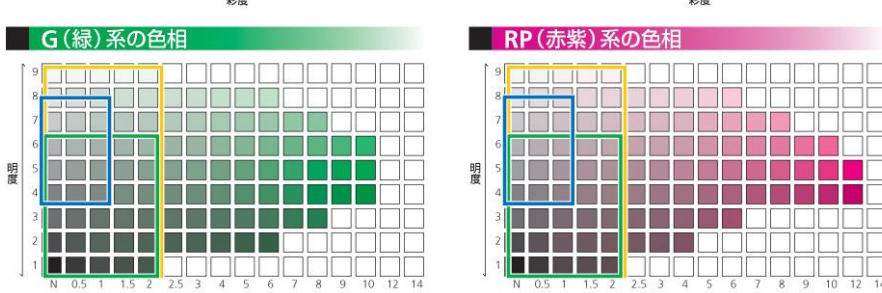
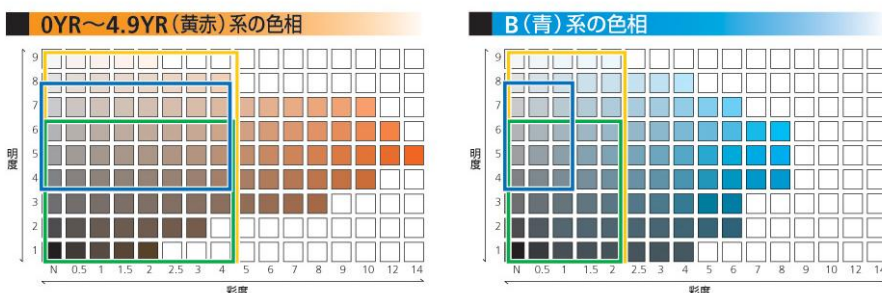
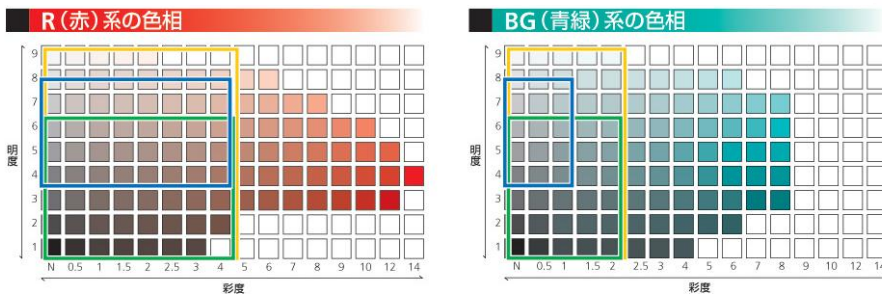
凡例

	外壁基本色の使用可能範囲 (外壁の4/5はこの範囲から選択)
	外壁強調色の使用可能範囲 (外壁の1/5以下で使用可能)
	屋根色の使用可能範囲 (陸屋根の屋根面には適用しない)

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満 (※ 1)	4.0 以下
	その他		1.0 以下
屋根色 (勾配屋根)	0.0R ~ 5.0Y	6.0 以下	4.0 以下
	その他		2.0 以下
強調色 (※ 2)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下

※1: 届出対象行為の建築物等の高さ 10m 未満の部分 (高さ 10m 未満の建築物等含む) については、外壁基調色の明度を 3.0 以上 8.5 未満とする。

※2: 強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。

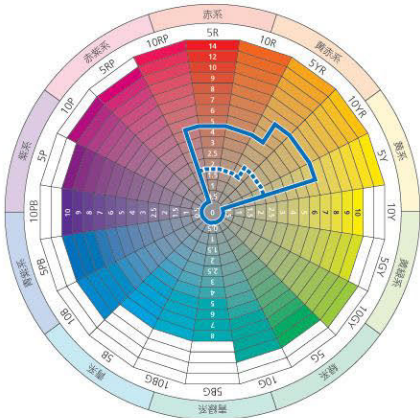


別表 IV

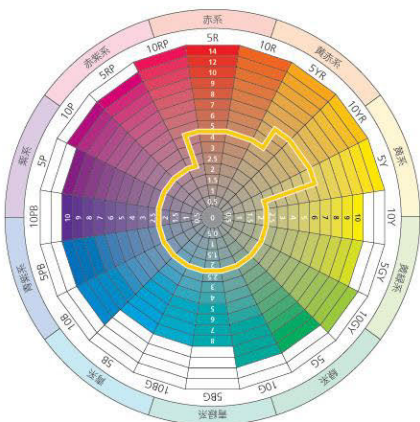
重点地区 甲州街道沿道地区

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 4.9YR	4.0 以上 8.5 未満の場合	4.0 以下
		8.5 以上の場合	1.5 以下
強調色 (※ 1)	5.0YR ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満の場合	6.0 以下
		8.5 以上の場合	2.0 以下
強調色 (※ 1)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下

※ 1：強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。



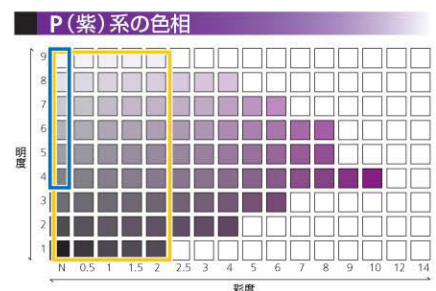
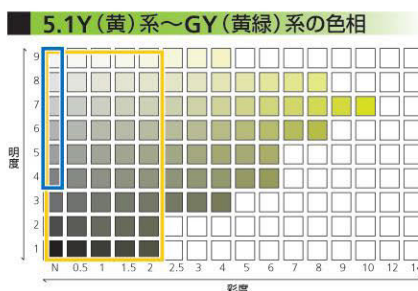
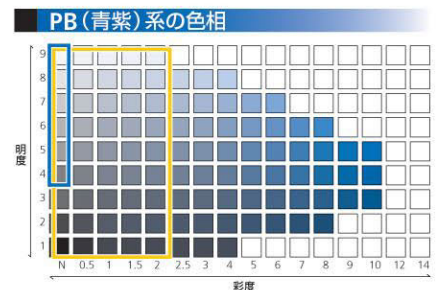
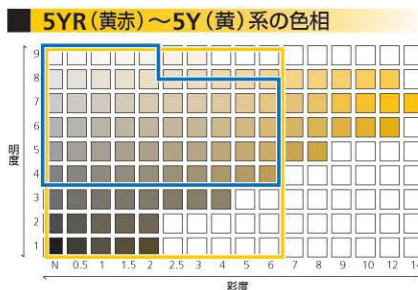
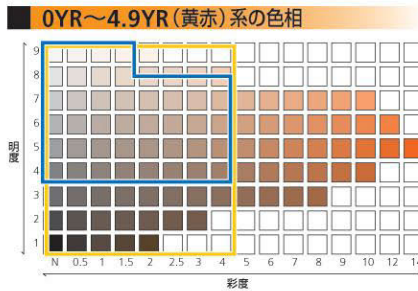
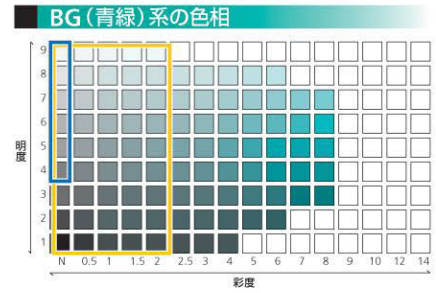
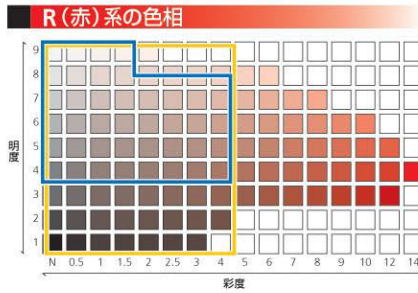
■ 外壁基本色の使用可能範囲
(実線：明度4.0以上8.5未満、点線：明度8.5以上)



■ 外壁強調色の使用可能範囲

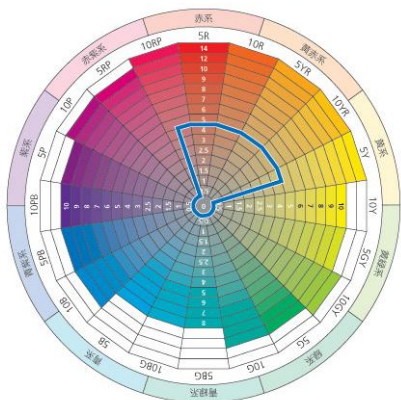
凡例

- 外壁基本色の使用可能範囲
(外壁の4/5はこの範囲から選択)
- 外壁強調色の使用可能範囲
(外壁の1/5以下で使用可能)

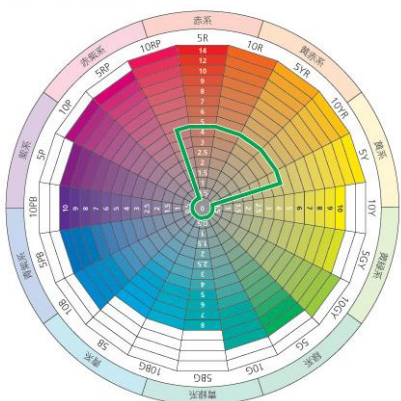


別表 V

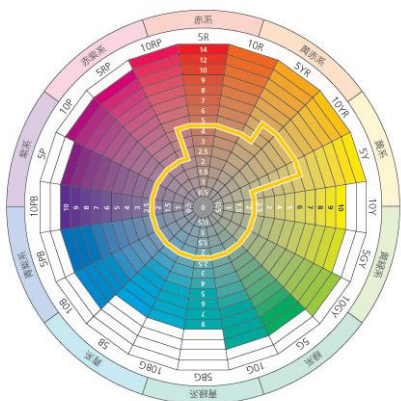
重点地区 高尾駅・多摩御陵周辺地区
高尾山参道周辺



■外壁基本色の使用可能範囲



■屋根色の使用可能範囲 (明度 6.0 以下)



■外壁強調色の使用可能範囲



凡例	
	外壁基本色の使用可能範囲 (外壁の4/5はこの範囲から選択)
	外壁強調色の使用可能範囲 (外壁の1/5以下で使用可能)
	屋根色の使用可能範囲 (陸屋根の屋根面には適用しない)

基準の適用部位・面積	色相	明度	彩度
外壁基本色	0.0R ~ 5.0Y	4.0 以上 8.5 未満 (※ 1)	4.0 以下
強調色 (※ 2)	0.0R ~ 4.9YR	—	4.0 以下
	5.0YR ~ 5.0Y		6.0 以下
	その他		2.0 以下
屋根色 (勾配屋根)	0.0R ~ 5.0Y	6 以下	4.0 以下

※1: 届出対象行為の建築物等の高さ 10m未満の部分 (高さ 10m未満の建築物等含む) については、外壁基調色の明度を 3.0 以上 8.5 未満とする。
※2: 強調色の制限は特定大規模建築物のみとする。

